

補助事業評価シート

番号	10	章	施策5	子育て支援の推進
----	----	---	-----	----------

補助事業名	プレイパーク活動の推進	所管部課	子ども家庭部子どもサービス課	事業開始年度	16 年度
根拠法令(要綱)等	平成20年度新宿区プレイパーク活動助成要綱				
19年度決算額 補助率	7,924,050 円 10/10	補助対象団体(者)	新宿区内の公園でプレイパーク活動を実施する団体および協議会		
補助することで達成しようとしている区の目的	新宿区内の公園等において、プレイパーク活動及びプレイパーク活動の啓発を行う事業を実施する団体の活動に係る経費を助成し、屋外で児童が安心して遊べる環境を確保し、児童の責任に基づく自主的な遊びを支援することを目的としています。				
団体(者)に対する直接の助成目的	プレイパーク活動及びプレイパーク活動の啓発活動を支援します。				
補助金の交付申請にあたって提出する書類・添付書類 1 助成に係る年間事業計画書 2 定款又は規約の写し 3 会員名簿の写し 4 歳入歳出予算書 5 チラシ・パンフレット等、活動実績のわかるもの等	補助金の清算/実績報告		清算/実績報告にあたって提出する書類・添付書類 実績報告書 1 事業の内容(プレイパーク活動回数、イベントの回数、講習会実績等) 2 助成対象事業参加者数内訳 3 活動のまとめ(感想やこれからの課題等) 4 活動の収支決算内訳		
審査の体制・考え方(区職員による審査又は公募委員を入れての審査、補助金の目的とする具体的な取組内容を記載した事業計画書を提出しているか・どのように審査しているか等)	子ども家庭部長を審査委員長とする区職員による審査会を実施しています。提出された年間事業計画書や予算書の内容について適正がどうかを審査し、助成の可否について決定します。		審査の体制・考え方(清算/実績報告時の審査体制、助成の目的・決定内容に照らして、自己評価・活動成果の公表状況を踏まえ、予定していた目的・成果が達成できたか・どのように審査しているか等) 活動の実施後、実績報告書と支払いを証する書面の提出を受けて内容を審査し、適正な執行を確保しています。		
今後の課題	都立戸山公園や区立公園でのプレイパーク活動は安定して行われ、内容も充実しています。啓発活動を通じて、プレイパークを運営する活動意欲を持つ方の養成を図っていますが、人材の発掘・育成はまだ十分ではありません。運営資金については賛助者からの会費等によるものしかなく、自主運営は難しい状況です。こうした課題を踏まえ、さらに公園管理者のプレイパーク事業への理解を得ながら今後運営をすすめる必要があります。				
補助金の評価	<p>総合評価(A・B・C・D)とその理由</p> <p>この補助金の総合評価はBです。理由は、プレイパーク活動が児童館や放課後子どもひろばとは違う体験ができる居場所として活用されているからです。</p> <p>区と補助対象者との役割分担</p> <p>この補助金において、区は財政援助、他部署との調整、事業の周知について、補助事業者は、事業運営、啓発活動を担います。</p> <p>目標の設定</p> <p>プレイパーク活動により児童が屋外で安心してかつ自主的に遊べる場が確保されており、目標の設定は適切です。</p> <p>代替手段・効率性</p> <p>この補助金は、地域の方で組織する団体及び協議会が実施しているので、費用対効果から見て効果的に行われています。</p> <p>目標の達成状況</p> <p>この補助金を交付したことにより、3団体が区内3か所の公園でプレイパークを実施し、児童が屋外で安全に遊べる環境を確保することができました。</p>				
今後の改革方針	都立戸山公園や区立公園でのプレイパーク活動が今後も安定して行われ、児童館や放課後子どもひろばでは経験できない屋外活動を体験してもらうため、プレイパークを運営する団体の育成と場の確保が必要です。プレイリーダーの養成や公園管理者との連携により、改善を進めていきます。				